

# 九州歯科学會 NEWS

## 季刊

2024年  
10月25日  
秋号

九州歯科学會広報  
理事：吉居慎二  
九州歯科学會事務局  
kds.gakkai@gmail.com  
TEL 093-571-9555  
九州歯科学會雑誌事務局  
kds.zasshi@gmail.com

**九州歯科学會總會  
評議員会・学術大会**

期日  
令和7年(2025年)  
6月21日(土)  
～22日(日)

開催形式  
対面とオンラインによる  
ハイブリッド開催

会場  
講演会場(本館3階  
301 講義室、Teamsに  
よる配信あり)ポスター  
会場(本館1階)

会費  
正会員:5,000円  
コデントル:1,000円  
学部学生など:無料

演題登録  
令和7年(2025年)  
1月ごろ  
学会HPにて開始予定

最新情報はこちら



# 九齒學會 財政改善

## 赤字から黒字財政に

一九三二(昭和七)年、福岡市今泉にある九州歯科医学専門学校にて「九州歯科学会」は発足した。当時はまだ九州唯一の歯科教育施設であり、「九州歯科」とは「九州歯科大学」の代名詞ではなく、九州における歯科研究のことを意味している。厳密には、九州歯科大学と九州歯科学会は密接な関係を持しながらも、現在、組織としては独立している。学会としては、後八年で百周年を迎えることにな

る。しかし、近年、雑誌投稿数と会員数が深刻な低下を示し、学会の財務運営が危機的な状況に陥っていた。二〇二二年一月、新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言が発令された。その年、学会会長に、歯科放射線学分野の森本泰宏教授が新たに就任した。それまでの年二百万円の赤字を解消するため、徹底した支出削減(理事手当の廃止など)、会費未納金の回収、教員会員の会費値上げにより、二〇

二三年度の収支は黒字に転じた。(七八巻三号の総会報告を参照)

## 賛助会員の新規加入と 学生会員の増大

二〇二二年には理事の働きにより賛助会員企業二社が加入した。また、学生会員・研修医の会費を千円から無料に規約改正することによって会員が六百名以上増大した。学生の多くが入会したことから、二〇二四年九月に九州歯科大学後援会と永松奨学会に賛助会員として入会して頂けた。現在、総会員数は千名を超えている(一一三六名・二〇二四年九月時点)。

# 九齒學會誌 O.A化

## 論文投稿のお願い

本学会発足の翌年、九州歯科学會雑誌は創刊され、時の内務大臣と文部大臣の二名より祝辞が寄せられている。J-stageには創刊号からすべての論文を無料公開しているのをご参照いただきたい。

九州歯科学會雑誌 (Jst.go.jp)

かつて、九州歯科大学で博士号を取得するには九州歯科学會雑誌に投稿しなければいけ

なかった。しかし、二〇〇〇年頃に他雑誌論文も審査対象となったことで、年五十本あった掲載論文が、ここ数年では十本未満まで落ち込んでいる。

二〇二四年度より本誌はJ-stageにて即時公開され、グリーンオープンアクセス(O.A)に対応した。二〇二五年以降の科研費論文は即時公開が原則となる。O.A化は世界的な

潮流で、一般の国内読者のみならず海外にも論文情報が開かれる。翻訳機能の上昇がもたらした現代では言語の壁は薄い。

いち早くO.A化した九州歯科学會雑誌の価値は高まっている。和文総説は国内社会での業績アピールになる。また、症例報告はこれまで以上に読まれることになり、将来のランダム化比較試験へと繋がるだろう。会員からの投稿はもちろん、会員外の開業医・勤務医の方達にも入会して頂いた上で投稿をお願いしたい。

# 九州歯科学會雑誌

## 78巻3号 内容紹介



総説(RV00001)  
九州歯科大学附属病院における小児歯科・矯正歯科の連携体制の現状 (黒石加代子 他)

総説(RV00002)  
九州歯科大学附属病院における顎変形症治療の連携治療の現状と今後 矯正歯科と口腔外科のコラボレーション (鶴島弘基)

総説(RV00003)  
医療的ケア児への取り組みについて (森川和政)

総説(RV00004)  
九州歯科大学附属病院口唇口蓋裂センターの現状と今後の展望 (土生学 他)

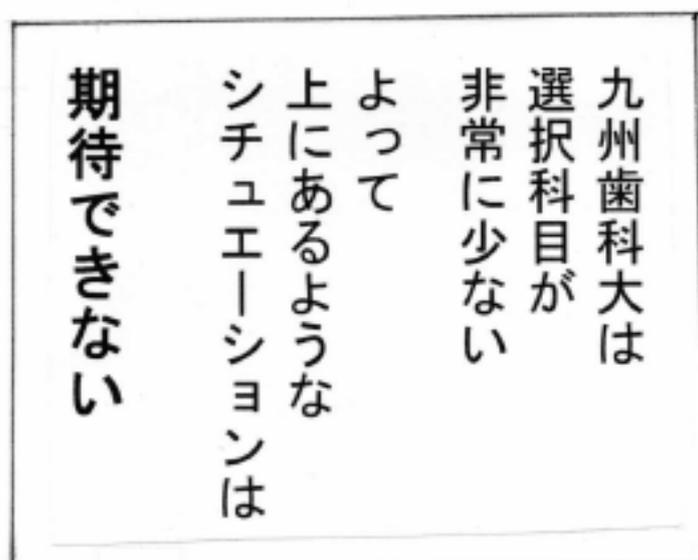
臨床報告(CR00001)  
KDU エンドクラウンパーセットを用いた大白歯エンドクラウン修復の一症例 (加来伸哉 他)

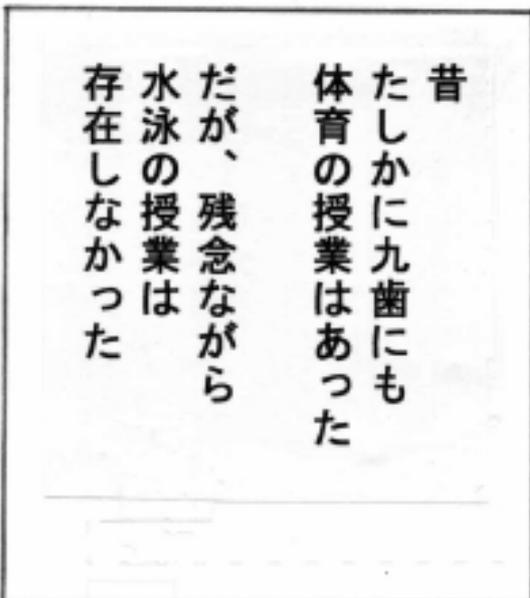
教育報告(ER00001)  
九州歯科学會雑誌における症例報告—インフォームド・コンセントと論文構成— (森本泰宏 他)

論文ダウンロードはこちら



# 九齒大 OB の「43's」先生による漫画連載





■数年前まで「体育」の授業が九歯大にもありました。鯨先生の定年退官に伴い、現在はありません。